



かわにし

精華町立川西小学校

検索

学校だよりはHPで
カラーで見れます

めざす児童像
よく学び 心豊かで 元気な子
精華町立川西小学校 学校だより
令和8年3月24日 春休み号

令和7年度 ご協力ありがとうございました!

校長 竹花 真治



ニュースでは各地から桜の開花のたよりも聞かれはじめ、いよいよ春らしくなってきました。

3月19日は、令和7年度卒業証書授与式を挙行いたしました。69名の本校の第93期生が卒業しました。本日、在校生には「修了証」を渡しました。

今年度は、学期1回の授業参観に加え、学年での取組など、多くの行事を保護者の皆様に、見ていただける機会を作りました。子ども達を見ていただき、頑張っている場面を、たくさん励まし、誉めていただいた事と思います。今日渡した通知票を見ていただき、この1年間の努力を認め、伸びたところ、大いに誉めてあげてください。そして、新年度に向けて「新たな目標」を、話し合ってもらいたいです。

本年度も学校教育目標を下記とし、教育活動を進めてきました。目標を、より具体的に育成したい児童の姿にかえたのが「目指す児童像」です。4月の学校だよりで掲載させていただきましたが、3つの中でも「**学びに向かい**」⇒「**学習面**」について、特に重点的に取り組んできました。授業などが「受け身的」な勉強に

なってしまうのではなく、自分から学びに向かう「主体性」が育つよう、授業改善を計ったり、自主学習ノートの指導を強化したり、タブレットの活用等を積極的に行ったりと、教職員で研修を積み重ねてきました。子ども達が、育成したい児童の姿に近づくことができたのか…、全教職員で今年度の総括をしているところです。年度初めに立てた教育計画を見直し、保護者の皆様方から頂いた学校評価アンケート(先月号参照)も考慮しながら、令和8年度が、より充実した年になるよう、計画していきたいと考えています。

改めて本年度、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、学校運営協議会の皆様にご支援・ご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

明日から14日間の春休みとなります。この春休みが、新年度に向けて充実した時間となりますよう、そして、4月8日からの新学期も、子ども達が安全で楽しく過ごすことができますように、ご協力よろしく願いいたします。(新年度は全校児童436名です。学級数は同じです)

学校教育目標

より良く生きるために、自ら考え行動する児童の育成 ~確かな学力・豊かな心・健やかな体~

目指す児童像

- 「よく学び」 深く考え、進んで学ぶ子どもを、育てられたのか(確かな学力)
- 「心豊かに」 命、人、時間、物を大切にする子どもを、育てられたのか(豊かな心)
- 「元気な子」 明るく元気に活動する子どもを、育てられたのか(健やかな体)



第93期卒業証書授与式

3月19日、6年生69名が立派に巣立っていきました。

1年生の入学時より、コロナ禍による休校等、約3年間にわたり、様々な制限の中で学校生活を送った子ども達でしたが、行事や委員会活動など、協力・団結して最高学年としての役割をしっかりと果たしてくれました。

小学校最後の1日、とても凛々しい姿でした。卒業生の、今後の更なる成長・活躍を期待しています。



PTA本部役員・地域委員の皆様 地域の方々ありがとうございました

PTA本部役員・地域委員の皆様、1年間活動ありがとうございました。おかげさまで、子ども達は安全に登校できたり、校内の美化にご配慮いただいたり、学校だけではできないところにご協力いただき、感謝しております。

PTAは、新年度より、「みんなのかわにし応援団」となり、従来の形にとられない新しい組織として生まれ変わります。全ての保護者・教職員で、川西の子ども達を、応援(サポート)していきましょう!

現本部役員の皆様、新組織移行に関わり、何度も会議等をしていただき、ありがとうございました。新本部の皆様、どうぞよろしく願いいたします。



以下の教科書は引き続き使います!
保管をお願いします!

| 現学年 | 引き続き使う教科書 |
|-----|-----------------|
| 1年 | 生活・図工(下) |
| 3年 | 保健・図工(下) |
| 4年 | 地図帳 |
| 5年 | 保健・家庭・図工(下) 地図帳 |

○離任式 3月30日(月) 8:40~

- ・通学班で登校・持ち物・体育館シューズ
- ・内容・お別れする先生方からの話
- ・登校後、体育館に入ります。下校9時20分頃

○令和8年度始業式 4月8日(水)

- ・通学班で登下校
- ・持ち物・上ぐつ・ぞうきん(2枚)・連絡帳・筆記用具
- ・新学年の教室に入ります。
- ・下校2~5年 11時15分頃 6年生12時00分頃

新学年の昇降口に、新しいクラスを掲示しています

○入学式 4月9日(木)

- ・6年生のみの登校2~5年生はお休みです。

令和8年度の主な行事予定

4月 8日(水) 始業式
9日(木) 入学式
13日(月) 給食開始(2~6年)
16日(木) 1年生給食開始
20日(月)~28日(火)教育相談期間
5月14日(木)~15日(金) 6年生修学旅行
22日(金) 1年生を迎える会
6月 4日(木)~ 5日(金) 5年生林間学習
7月17日(金)1学期終業式
8月27日(木)2学期始業式
10月17日(土)運動会
12月24日(木)2学期終業式

1月 8日(金)3学期始業式
2月19日(金)6年生を送る会
3月19日(金)卒業証書授与式
3月24日(水)修了式



水泳学習について

新年度より、町内の小学校の水泳学習は、外部委託事業となります。川西小は、コバンスイミングスクール高の原(近商横ひまわり館)で子ども達は学習します。2・3・5年生は4/30(木)、5/7(木)、5/14(木)、5/21(木)、5/28(木)。1・4・6年生は6/4(木)、6/11(木)、6/18(木)、6/25(木)、7/2(木)となります。お知りおきください。

~これからも学校・家庭が連携して~『親』という字の成り立ちは...

本校に赴任させていただいて、はや2年。子どもたちの元気な挨拶や、思いっきり遊んでいる姿から、毎日エネルギーをもらっていました。その子どもたちの頑張りの裏には、保護者の皆さまの、各ご家庭での「子育て・親業」の努力があつてのこととおもっています。私も三人の子を持つ親ですが(もう成人して家にはいません)、子育てほど難しいものはないと感じています。この学校だよりで、私の思う「教育観」を何度か述べさせていただきましたが、今号でも改めてお伝えさせていただきます。(昨年度7月号と同じ内容ですが、少し改定して掲載させていただきます。)

● 「親」という字が教えてくれること

私が中学生の時、武田鉄矢氏が演じたドラマ「金八先生」が大流行で、ほぼ毎週見していました。その中で、ある回の放送で金八先生が話していたのですが…、「『親』という字の成り立ちは、字を分解してみると、親が、木の上に立って、子ども(の帰り)を見ると書く!」と、保護者に対して説法していた場面がありました。



「子育ては、親がすぐにかまうのではなく、子どもの動きを木の上からそっと・ゆったり見守るように!」というメッセージです。この字の由来は諸説あるようですが、子育て論として、ストンと落ちる時がある一言だなと私は思っています。

● 待つことで変わる子どもの姿

以前、ある保護者の方と話をしていて驚いたことがありました。「先生、私、もう細かいこと言うのやめました。怒るのやめました!早く宿題しなさい!と言わなくなったら、子どもが自分で動きだして…」というお話でした。ちょうどその頃、担任からも「この頃〇〇くん、いろんなこと頑張りが出して、褒めること多くなりました!」と聞き、両者から同じ時期に、子どもが変わっていった様子が聞けてびっくりしました。



小学校の時期、つい事細かに指示してしまうことも多いと思いますが、この流れをずっと続けていると、自分で考えて行動する機会がなくなってしまいます。また、できていないことに対して怒ることを続けていると、「怒られるから動く」という主体性のない動き方が身につけてしまいます。私も、自分の子が小さいころ「早くしなさい!」なんて言葉は、口癖のように使っていました。その結果、子どもがかなり大きくなって、使い続けることになってしまいました…。

● 「自立」に向けた大人の関わり方

「自立(自分で気づいて考えて行動できる)」を目指すならば、子どもが行動を起こすまで「待つ!」ことは大切です。仮に忘れ物をして「自分の力で何とかする!」または「忘れて恥をか!」くらいの逞しさを身に付けさせていくのも大切に思います。(学校としては、届けてもらって、ありがたいことは多々ありますが…)

● その時々で「方針」を持つ

この保護者の「細かいことを言わない!」という子育ての方針で、全ての子が好転に向かうかどうかは、全くわかりません。見守ることも大



切ですし、わからないことは「教える」ことも大切です。今までに、何度か述べさせていただきましたが、子育てに「法則」などありません。ただし、「今は~していく!」などの「方針を持つ」ことは大切に思います。子育てで、行き詰まり感があつたとしても、1人でお悩みにならないでください。常に相談していきましょう。学校は、「子どもにとっての社会」です!子ども達、壁にぶち当たることもありますし、子ども達の間で、いろいろなことも起こります!でも、それを乗り越えれば、子どもにとって大きな成長です!



● 一番難しい場面…「何を学ばせるか!」

子育てで、我が子だけのことで難しいですが、友達間でのめめ事が起こった時など、対応が本当に難しいと思います。学校では、子ども間では、何かが起こります。何かが起こったとしても、できるだけ早く、子ども達が安心した日常に戻れることが大切かと思っています。12月号にも記載しましたが、SNS上のトラブルなどは、たった1つの言葉や画像等の発信から、その解決に、子どもやご家庭への聞き取りや事実の解明に、膨大な時間を要することがあります。

(お子さんに、スマホを持たせているご家庭は、ご家庭のルールに基づき、お子さんの閲覧・発信内容等、常に確認をお願いします。)



また、1つのめめ事で、子ども達の中では、次に進もうとしているのに、保護者の方の「納得?」が得られず、めめ事が複雑化することもあります。「その事実は本当なのか?ウチの子はしてないと言ってる!」との保護者の話から、再度聞き取りをしたり、相手さんへの連絡等から、保護者間のもめ事となり、これまた膨大な時間を要したこともあります。

誰もが「怒られること」は嫌なものです。少しでも怒られたくないがために、子どもが、学校と家庭で言っていることが変わっていることもあります。もちろん、すべての事実が確実に分かり、きちんと片が付けばいいのですが、数日前のことなど、子ども間のことでは、事実がわからなくなっていることが多々あります。嘘が重なり、真実を語れなくなっていることもあります。その結果、謝れなくなってしまっていることも…。

こんな時、大切なことは、その事象から、子どもが学ぶべきことをきちんと教えることです。次に繋げていくことです。学校も保護者も、子ども達を大局的に見る(木の上…)ことが必要な時が多々あります。

● 子どもの動きを木の上からそっと・ゆったり見守るように

全ての学校(先生)や保護者は、子どもの成長を目指しています。目標が同じなのに、めめ事等から、ちょっとしたズレで、話しにくくなったり、良好な関係が崩れたりすることは、残念なことであり、望ましくありません。何かあつても、どこかで折り合いをつけ、次に向かっていきましょう。子どものために、連携・協力は絶対不可欠です。

子ども達が、いつの日か「自立」する日に向けて、学校と家庭・保護者同士が繋がります。誰もが挨拶をかわし、笑顔で子どもを見つめ、一人一人の成長を喜び、伸びたことを誉め…、子どもたちを木の上からそっと見守るように、じっくり・ゆったり育てていく…。

いつまでも、そんな川西小学校でいてもらいたいと願うばかりです。(校長 様々なご協力、ありがとうございました。)

